

第4回(仮称)古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会 会議録

日時	令和6年2月13日(火) 14:00~16:00
場所	古河市役所 総和庁舎 特別会議室
出席委員	小林委員(委員長)、中野委員(副委員長)、渡辺委員、野村委員、蓮見委員、峰委員、初見委員、楠田委員、今井委員、塚田委員、佐藤委員、稲葉委員、蘇武委員、柿沼委員、千野委員
欠席委員	関根委員、宮本委員、岡安委員、湯本委員
事務局	企画政策部 野沢部長 プロジェクト推進課 細見課長、山中課長補佐、海老原係長
受託者	シアターワークショップ・日本工営都市空間設計共同体 株式会社シアターワークショップ(TWS) 小池、山本 日本工営都市空間株式会社(NKU) 福林、矢野、今吉(記)、若梅、片山(Web)
内容	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議題(1)建設候補地の追加検討について ・資料1 広域ゾーニング図 ・資料2 建設候補地の追加検討 (2)コンセプトについて ・資料3 古河市新公会堂コンセプト案 (3)施設機能について ・資料4 施設機能 (4)調査報告等について ・資料5 先進地施設視察(平塚文化芸術ホール) ・資料6 第1回中高生ワークショップニュースレター ・資料7 第1回市民ワークショップニュースレター 4 その他 5 閉会
事務局	【(仮称)古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会】 (委員長挨拶) 委員長:前回の委員会の宿題を今回回答いただけたと思っています。皆さんと活発に議論したいと思います。よろしく願いいたします。

<p>事務局</p> <p>小林委員長</p>	<p>《議事》</p> <p>(1) 建設候補地の追加検討について</p> <p>第3回市民委員会において建設候補地の比較資料を求められたことから、前提条件を設定し、整理した資料にて説明</p> <p>これまで事務局では、効率よく新公会堂整備の推進を図るために、先に建設候補地の決定することを予定していましたが、建設候補地の決定する判断材料が少ないなどの市民委員会からの意見も踏まえ、まずはコンセプトを確定し、施設機能・規模などを先に協議したうえで、建設候補地として適切な場所を選定する進め方に変更させて頂きたいと考えます。今回、進め方を変更することにより、新公会堂の整備のイメージが市民委員会内で、共有が図れ、その後に建設候補地の選定となることから、より建設候補地の選定がスムーズになると考えての変更となります。</p> <p>事務局からの説明の通り、候補地の選定については、コンセプトや施設機能を十分検討した上で行うという方針について、意見のある方はいますか。</p> <p>各委員から質疑・異議なし</p>
<p>TWS</p> <p>小林委員長</p> <p>TWS</p> <p>小林委員長</p>	<p>(2) コンセプトについて</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>委員の皆様より、ご意見・ご質問等ありますでしょうか。特にないようですが、私から1点質問があります。「テーマコミュニティ」とはどのようなものでしょうか。</p> <p>これまでコミュニティといえば、地域ごと・場所に寄与して生まれるものでしたが、文化芸術といったテーマに基づいたコミュニティを指すものです。古河市総合計画でも言及されているキーワードです。</p> <p>場所だけではなく色々な観点で複層的にご縁が生まれるということですね。</p>
<p>TWS</p> <p>小林委員長</p> <p>渡辺委員</p> <p>小林委員長</p>	<p>(3) 施設機能について</p> <p>資料に基づき説明(資料4の1ページ)</p> <p>部門ごとの関連性、施設機能図に関して、委員の皆様より、ご意見・ご質問等ありますでしょうか。</p> <p>市民が市内の公民館・地域交流センター等での小さいホールで発表を行うための団体を育成する、成長過程ということも考えるべきだと思っています。各公民館等で練習して、だんだんと発表の場が大きくなるなど、市内で活動がつながっていくように既存施設の改修や舞台設備機能を追加してほしいと考えます。また、どの施設でも同じ設備を設けて、どこでも使えるようになるとよいと思います。</p> <p>市民が継続して活動できるというのは重要な視点だと思います。既存施設の活用と新公会堂の結びつきに関しては、文化芸術振興計画で反映すべき内容ですので、庁内で調整いただきたいです。同じ設備の導入については、予算の関係で難しいかもしれませんが、新公会堂には最新の設備・機能を備えると想定されるため、市民がストレスなく利用できるよう、活動をサポートする舞台芸術の専門家を配置するなど、運営面の方針として</p>

	今後考えていく必要があると思いました。
千野委員 TWS	資料4の1ページ目の表、管理部門にある市民活動室とは、どのようなものですか。市民が中心となった施設運営組織の活動拠点としての部屋を想定しています。定例会議の場所や資料印刷スペース、資料保管スペースなどを想定しています。一般的な会議室でも活動することはできますが、単なる施設利用とは性質が異なる活動であるため、別途個別のスペースを確保する想定としています。
小林委員長	補足いたします。最近では、市民自らが施設運営にボランティアとして携わり、事業の企画等を行うことがあります。しかし既存のホールでは活動場所がないことで、思うように活動できないこともあるため、その日常的なサポートとなる部屋を設けられるとよいと思います。
楠田委員	新しい施設をどのように使ったらよいか困ることがあるかもしれません。管理部門の中に、施設の利用方法や催し物を案内するコンシェルジュがいるとよいのではないのでしょうか。
小林委員長	とても重要な意見だと思います。アートマネージャーと呼ばれる人がいれば、市民の発表が一気にバージョンアップすることも考えられますので、いい人材を確保したいなと思いました。施設空間としては、技術スタッフ室等を設けてはいかがでしょうか。
TWS	資料に基づき説明（資料4の2、3ページ）
小林委員長	続きまして大ホールに関して、まず初めに私から質問をよろしいでしょうか。例えば小美玉市のホールのように席数を変えた仕様とする場合、貸館の際に席数に応じて利用料は変えているのでしょうか。
TWS	1階席のみの利用とする場合は、施設の利用料を減額する施設もあります。
小林委員長	ありがとうございます。多くの収入を施設が得ることも大切ですが、市民が利用しやすいような金額設定も重要かと思いました。 もう1点、質問として、客席数の検討の観点のひとつとして、市内の小学5年生を全員集めると、どの程度になるかご存じでしょうか。
事務局	およそ1,000人前後と思います。
小林委員長	ありがとうございます。小学生に芸術鑑賞教室としてホールで聴く機会を設けることがあります。近隣の足利市では40年以上実施されています。その時に施設の席数の目安として、小学校5年生が1回または2回に分けて集まれることを指標にしていました。このように、ホールをどう使うかということを考えていただければと思います。また、ロールバックチェアを備えた平土間ホールを想定するとのことですが、最近では可動でも座り心地のよい製品があると聞いています。 それでは委員の皆様より、ご意見・ご質問等ありますでしょうか。
野村委員	普段発表活動を行っている委員の方に伺いますが、ホールが大きすぎて人数が集まらないとやりづらい、寂しいと感じることはあるのでしょうか。
渡辺委員	集められる人数に応じてホールを選ぶことになると思います。500人規模のホールに20人しか集まらないのと、500人集まるのとでは、やはり発表する側としてもモチベーシ

	<p>ョンは変わってきます。また、一つのホールで客席数の容量を変化させることは必要と 思いました。</p>
小林委員長	<p>一般的な状況として、地域で市民が主体となった催し物では、500 人を集めるのも大 変だと思われると思います。</p>
野村委員	<p>小美玉市のように人数を変えられるホールはすごく面白いなと感じました。</p>
稲葉委員	<p>客席数を 1,000 席程度にすれば、駐車場の問題も解消されるのではと思いました。大規 模な演目は年に何回も無いため、1,500 席規模は大きすぎると感じました。</p>
今井委員	<p>1,200 席でも 1,500 席でも総事業費には大きな影響はないように感じました。</p>
小林委員長	<p>客席数の設定理由について、事務局より説明してもらえますか。</p>
事務局	<p>まず、市民アンケートでもっとも回答が多かったのが、1,000 席でした。一方で、1,300 席以上という回答も全体の過半数であったため、このボリュームゾーンを設定しまし た。</p>
柿沼委員	<p>小ホールで可動式の椅子を想像しており、大ホールで可動式というのは驚きましたが、 由利本荘市文化交流館カダーレの施設写真を見て、とても魅力的に感じました。中学校 の同窓会で 220 人を集めて飲食パーティーをでき、駅から近い立地の施設が市内には ないことが課題だと感じていました。新公会堂でカダーレのような使い方ができたらと ても嬉しいです。</p>
小林委員長	<p>ホールで飲食ができることなどを見据えた条例づくりが必要となってきますね。</p>
塚田委員	<p>ロールバックチェアのコストや、転換に必要な時間を教えてください。</p>
TWS	<p>費用は、カダーレのように特に品質のよいロールバックチェアを導入すると固定の鑑賞 席よりもコストがかかります。また、導入費用だけではなく、年 2 回程度のメンテナ ンス費用が必要です。一方で、ご意見のあったようにこれまでとは異なる新しい使い方が できるため、施設の稼働率向上につながる可能性があります。転換は電動で 40 分～45 分程度かかります。その他の机等のセッティングについて管理者がサービスで行うか、 利用者が移動させるかなど運用面で検討すべき点もあります。</p>
佐藤委員	<p>ロールバックチェアを導入することはいいと思います。1,200 席か 1,500 席とするかを この委員会で決定することはかなり難しいかと思いますがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>この委員会で客席数を確定するのではなく、まずは最大規模として想定される案として 提示させていただきました。今後、客席数を決めるにあたっては、1,000 席と 1,200 席 と 1,500 席など、必要な比較を行いたいと思います。また、ロールバックチェアを導入 したい意図としては、コンセプトにある災害時の対応の観点からも使い方の幅が広がる と考えています。</p>
小林委員長	<p>客席数の議論だけでなく、舞台についても検討が大切です。このホールで何をしたいか ということを考えていただきたいですが、いかがでしょうか。</p>
楠田委員	<p>他県のホールで仕事をしています。その中で感じたのは、オーケストラピットを電動で 配置できる会場がとても少ないということです。オーケストラピットが充実してい たり、舞台の広さが十分であれば、それだけ上質な演目ができると思います。2 点目は、 楽屋の充実です。秋田芸術館は楽屋がとても充実して使いやすかったのですが、他のホ</p>

	<p>ール施設では、楽屋が少なく隣接する公民館も使用されているところもありました。演じる人間がストレスなく施設を利用できることも大切だと思います。</p>
小林委員長	<p>古河市の近隣には1,200席規模のホールが複数立地しています。利用目的の似た人が集まるため、新公会堂をより使ってもらうためには、他の施設との違いを出すことが必要です。その違いが、オーケストラピットや楽屋かもしれません。</p>
渡辺委員	<p>ミュージカルをするにもオーケストラピットはあったほうがよいです。結城市民文化センターにも整備されていますが、設置にとっても時間がかかって大変です。小山市民文化センターにはオーケストラピットはありませんでした。</p>
蘇武委員	<p>宮城県加美町のバッハホールは30年前に残響が優れているということで、とても人気になっていました。例えば音響設計の著名な方（豊田泰久氏）に依頼してどこにも負けない音響を作るということでもよいとは思いますが、コストがかかります。関東の多くのホールに負けない設備・運営とするにはそれだけコストが費用になることも考慮してほしいと思います。</p>
小林委員長	<p>何かホールに特色を出すということは県外からも人を呼びやすい、ブランディングがしやすい施設になります。例えば加美町では地域のディレクターのような方がおり、子どもの演奏家を育てる活動をされています。何かに特化したホールを作ることもぜひ検討したい一方で、市民のための誰もが使えるホール、ということからは離れてしまいます。最近では音響環境も可変できるというホールもあるため、どのような使い方を想定するか、考えていくことが必要です。</p>
柿沼委員	<p>大ホールは、古河市では飲食ができるホールというのがよいと思いました。一方で、例えば小ホールがすごく良い音響で居心地も良いなど、高品質にしたらどうかと思いました。</p>
小林委員長	<p>武蔵野市民文化会館では、小ホールにパイプオルガンがあり、プロの演奏会なども小ホールを利用して実施しています。そのような特徴を付けることもあると思います。</p>
千野委員	<p>実は大ホールが固定席と提案されたら、反対しようと思っていました。クラシックの演目であれば固定席がよいかもしれませんが、新公会堂という位置づけを考えると、市民もそれ以外の目的でもホールを使いやすいとよいと思います。</p>
小林委員長	<p>皆様ご意見ありがとうございました。おおよそ、最大1,500席程度で、可動席とすることも問題ないという意見だったかと思います。</p>
TWS	<p>資料に基づき説明（資料4の4～6ページ）</p>
小林委員長	<p>続きまして創造支援部門に関して、委員の皆様より、ご意見・ご質問等ありますでしょうか。</p>
千野委員	<p>会議室と練習室・スタジオ等は、机を移動することで床や壁に傷がつくなど劣化している施設を見ているため、重ねづかいは避けてほしいです。また、展示室はホワイエにあることが多いのでしょうか。</p>
TWS	<p>事例としてはホワイエにピクチャーレールなどを設置して併用している事例も多くあります。一方で展示団体からは、作品を保管できるよう施錠できるようにしてほしい、</p>

佐藤委員	展示のための高い天井がほしい、といった要望をもらうこともあります。
小林委員長	その他の部門のお話も伺っていて、市民委員会で実際の事例を見学してはどうかと思いました。
小林委員長	施設を見学することで、これまでの固定的な意見が解消されるといったことはあるかもしれませんが、予算もあると思いますので、事務局にてご検討願います。
小林委員長	私からも 1 点質問があります。提案している練習室はどれも大きいように感じていますがどう考えていますか。
TWS	もちろん少人数用の部屋も必要と考えています。近年、活動する文化団体の少人数化が進んでいるため、これに対応していくことも必要です。また、今回の調査では団体に所属している方を対象としていたため、個人で活動している人のニーズは漏れているかもしれません。
小林委員長	大きい部屋を確保するのはどの施設でも標準的に行われますが、日常的に使いやすい部屋を用意することも重要です。例えば、ガラス張りの小さな練習室がたくさん並んでいる施設もあつたりします。
千野委員	小学校 6 年生の息子がドラムをやっていますが、家で十分練習できます。また、庭に仮設の小屋を建てる人もいます。市内の人はそこまで個人の練習には困っていないのではないのでしょうか。
渡辺委員	高校生バンドのイベントの運営等をしています。話を聞くと、在学中は学校など練習する場があるが、卒業すると場所がなくなってしまうそうです。大人になると、車と資金があるので県外に移動することができますが、高校生くらいだと難しいです。バンドの練習場所というのはそれなりに需要があるかもしれません。また、大型楽器の運び込みはアマチュアにとっては大変なので、ドラム、ティンパニ、マリмбаなどが施設にあるとよいと思います。
中野委員	教育分野において、日常的な活動ができ、地域移行の受け皿となるのはとてもいいと思いました。少子化が進んでいるので、複数の小学校が集まって吹奏楽などができたらよいと思います。
小林委員長	地域全体で部活動をするという動きも出ています。学校と地域とを連携されられる人材も重要です。
TWS	資料に基づき説明（資料 4 の 7～8 ページ）
小林委員長	続きまして共用部に関して、委員の皆様より、ご意見・ご質問等ありますでしょうか。特に重視したい機能などについてご意見いただきたいです。
楠田委員	共用部は、文化芸術に興味が無くても訪れる用事があるとよいと思います。特に重視してほしいのは子育て機能です。他の施設では、毎日のように親子が来ていたりします。
千野委員	キッズスペースには託児スペースをぜひ設けてほしいです。市内に託児施設が充実しているわけではないので、キッズスペースを中心として活動が生まれるカフェなどと連携して子育て支援の事業ができるとよいと思いました。反対に不要だと思うのは市の情報コーナーです。ただ市のパンフレットが置いてあるだけになってはもったいないです。

<p>渡辺委員</p> <p>柿沼委員</p> <p>小林委員長</p>	<p>市の文化のアーカイブやバックグラウンドを知るコーナーがあったらよいと思います。例えば、旧古河市公会堂のピアノは第六小学校にあるそうなのですが、これを新公会堂にストリートピアノとして設置して、文化の継続性を示してはどうでしょうか。</p> <p>以前はカフェがあるとよいと思っていました。しかし今は、たまり場になっては困るし、運営が難しそうだと感じています。また、キッチン市内の他の施設でも空きが目立っていますし、不要だと思います。</p> <p>カフェはある方が施設は活発化すると思います。ホワイエは勉強等で学生も利用しやすく、カフェでは鑑賞後の会話ができるなど、施設のターゲット層が利用しやすい施設となるよう検討していただきたいです。いつくか優先的に考えたい機能の意見が出されたのではないのでしょうか。</p>
<p>TWS</p> <p>小林委員長</p> <p>事務局</p>	<p>(4) 調査報告等について</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>委員の皆様には、ぜひ内容をよく読んでいただき、参考にしていただきたいです。それでは進行を事務局にお返しします。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>4. 今後のスケジュール</p> <p>事務局より今後のスケジュールをご説明します。次回の第5回委員会の日程は今後調整させていただきます。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>